

平成30年8月15日発行

RIKKO SEKAI No.1079 力行世界 平成30年8月15日発行 (1)

2018年

8月号

年4回発行(1.4.7.10月号)

No.1079

(学法)日本力行会

# 力行世界

R I K K O S E K A I



会館生バス旅行(神奈川県・猿島にて)

創立1897年1月1日



## 目次

会館生 日帰りバス旅行……………2・3	会員お便り……………10
ラボ1泊ホームステイ 交流会……………4・5	むかしのがっこう……………10
りっこう幼稚園だより……………6～8	「いま、ブラジル日系社会が 危ない」……………11
りっこう学童クラブだより……………9	力行だより……………12
ブラジル研修生紹介コーナー……………10	

# 会館生 日帰りバス旅行

去る6月21日に会館生バスツアーで鎌倉と横須賀の無人島「猿島」に行って参りました。会館生が日本文化と歴史を体感し、関東の自然にも触れて、特別な体験をしてほしいと願って企画しました。天気にも恵まれ最高のコンディションでバスは出発しました。そして今回は、東日本大震災の時の元会館生で、日本を愛し住み続けてくれた何一鳴（か・いちめい）さんが北海道から駆けつけてくれて参加してくれました。

恒例のバスでの映画上映会では話題作『グレイテストショーマン』。会館生は歌と踊りに大喜びで、はじめて見る職員も時々涙をこぼしそうになり、胸を打たれていました。

到着した鎌倉では、英語で観光案内をしてもらいながら鎌倉大仏をみて、たくさんの写真を撮り、そのあとは長谷寺を散策し、多くの観光客の間を縫うように階段をのぼり、見晴らしのよい高台から鎌倉を一望しました。

そこから食事処に移動する道すがらのお土産屋の通りで、会館生が格安で着物を買っていきました。やっと着いた食事処では、豪華な和定食で皆が喜んでおりました。

その後は待望の猿島に向かいました。戦艦三笠が海に展示してある三笠公園からフェリーに乗り、無人島の猿島へ。猿島は江戸幕府により最初に作られた台場の要塞であり、兵舎の跡が残る緑の苔に覆われたトンネル、砲台

跡、BBQ場、磯場で、一時の冒険を楽しんでおりました。犬の転生を描いた映画を上映し、力行会館に無事到着しました。

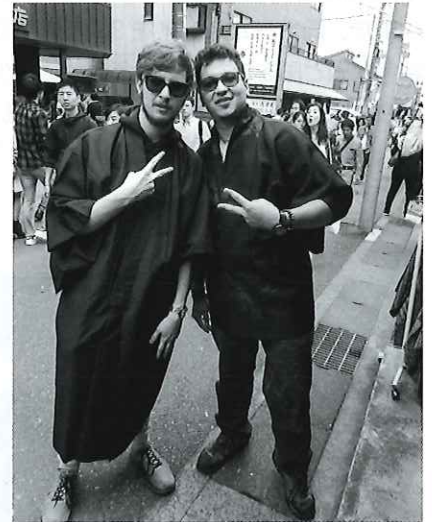
何さんも大変楽しんでくれました。一年滞在してくれた会館生と半期で帰る留学生と一緒に最後のツアーになりました。みなさんが再び力行会に来てくださいることをお待ちしております。

以下に会館生の喜びの声を掲載します。



チャン・クワイキン (マレーシア)

I was very happy that I can join the Kamakura Trip that organised by Rikkokaikan, The trip is full of fun and help each of us connected to each other more closely especially all the officers of Rikkokaikan. Thanks Rikkokaikan for sponsored for the trip. I did enjoy during the whole trip and wish I can join more trip that organised by Rikkokaikan



# ラボ1泊ホームステイ交流会

(6月9日開催)

今年もラボ国際交流センターの方々のご協力のもと、ホームステイプログラムに7人の会館留學生が参加しました。一日目はラボメンバーのご家族との会館生の交流会で、ゲームや歌や踊り、国紹介の時間、夜はラボの方々のお手製の料理による立食パーティーと非常に中身の詰まったプログラムでした。会館生は初めて会う日本人学生や子供と遊びを通して短い時間にあっという間に仲良くなり、こうした交流が将来の国と国との懸け橋になっていくのだと実感しました。交流会の後は、会館生は受け入れ先家族の家に行き、思い思いの時間を過ごしたようです。力行会、会館生ともども大変お世話になりました。

また、同ホームステイを33年前から長年支えてくださったラボの西瑞江様が今年で活動を終わられました。将来を担う若者が国と国をつないで戦争や争いが少しでもなくなっていくことを願っての閉会の挨拶をされて、交流会は終了しました。当会も全く同じ気持ちであります。長い間本当にお世話になりました。心より感謝申し上げます。

以下に会館生のホームステイプログラムに参加してくれた3名の会館生の感想分を掲載しております。そちらも合わせてお読みください。



第31回ラボ1泊ホームステイ交流会アンケート (2018.6.9-10実施)

Questionnaire for the 31st LABO Youth Gathering and One-day Homestay Program  
ラボパーティー 西武地区

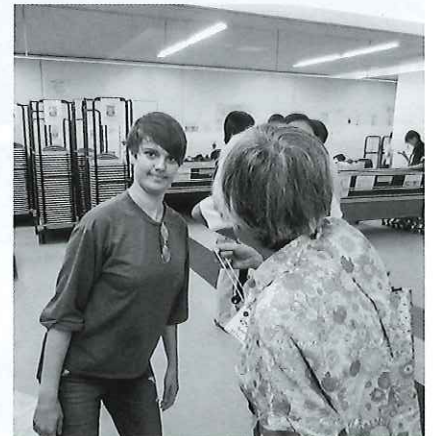
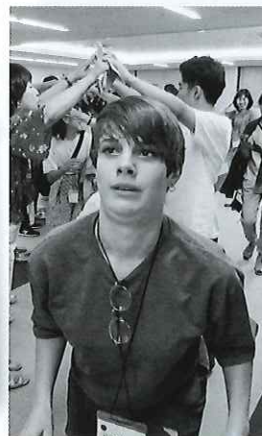
この度は、ラボ1泊ホームステイ交流会にご参加下さいましてありがとうございます。  
この後のよりよい交流のために、以下のアンケートにご協力をお願いします。  
Thank you very much for your participation in our Youth Gathering/ One-day Homestay Program. Please fill out a questionnaire below for our next opportunity of this program.

1. 交流会は、いかがでしたか? What do you think about the gathering you attended this time?

I really enjoyed the gathering experience since I was really nervous to meet my Japanese family. The games were really fun and helped me feel more calm and comfortable. I particularly liked the game of passing words to one another.

2. 1泊ホームステイは、いかがでしたか? Have you enjoyed your one-day homestay? Please tell us what you felt during the homestay experience.

Before going to the homestay I was really nervous. But now I can say that the experience was great and I have no regrets. I really enjoyed my time with my Japanese family. Even if it was just for one day we played a lot of games in the morning, cooked, made shrinkys dinks and went to a lunch party with a few other homestay families. I stayed a lot of time with the kids and was able to use and improve my Japanese. I felt comfortable talking to them and learned a little bit of the Japanese language and about the Japanese family. I have plans to meet my Japanese family soon. In resume I hope that this homestay program from Labo continues to bring different cultures together.





第31回ラボ泊ホームステイ交流会アンケート (2018.6.9-10実施)

Questionnaire for the 31st LABO Youth Gathering and One-day Homestay Program  
ラボパーティ 西武地区  
この度は、ラボ泊ホームステイ交流会にご参加下さいましてありがとうございます。今後のよりよい交流のために、以下のアンケートにご協力をお願いします。Thank you very much for your participation in our Youth Gathering/ One-day Homestay Program. Please fill out a questionnaire below for our next opportunity of this program.

1. 交流会は、いかがでしたか? What do you think about the gathering you attended this time?  
充実していて、楽しかったです。様々なゲーム、ダンス、国の紹介、そして食事と最後の終了まで、暖かい雰囲気の中でたくさんの人々と交流ができました。心の込められた交流会だと感じました。

2. 一泊ホームステイは、いかがでしたか? Have you enjoyed your one-day homestay?  
Please tell us what you felt during the homestay experience.  
すごく楽しかったです。

ホームステイ先に着いたのは午後7時半頃でした。おかあさんがサクラソノとピワなどを出して、みんながテーブルを囲んで色々話しました。話が盛り上がり、気づいて風呂に入ろうとすると、もはや夜11時でした。風呂の後、明日の予定についてまた色々話していました。翌日はあいにく曇っている天気でしたが、おかあさんが味噌汁、もずく、鮭、野菜サラダ、ハム、卵巻きとご飯のある和食の朝ごはんを作ってくれました。豪華で美味しかったです。お茶を飲んでから、ホームステイ先のブルーベリー畑や野菜畑、庭などを見学しました。東京という大都市の中で、こんな広い面積をもって植物を植えていることに、びっくりしました。樹木もけっこう古い年齢みたいで、まるで大都市の桃源郷のような所です。その後、またみんなと色々話したり、あさみさんとひろとさんがピアノを弾いてくれて、素晴らしい時間を過ごしました。

11時ごろは金さんの家に行き、いくつかの家族と一緒に寿司のパーティーをしました。お寿司だけでなく、お団子やお菓子など、美味しいものたくさん食べました。子供が多くいて、すごく可愛いです。そらんちゃんが一生懸命英語を喋ったのが印象的です。最後に雨のため、車で私たち留学生を駅まで送ったのもとてもありがたく思っています。

第31回ラボ泊ホームステイ交流会アンケート (2018.6.9-10実施)

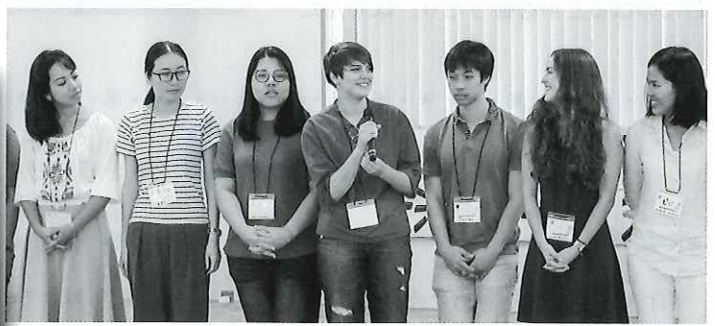
Questionnaire for the 31st LABO Youth Gathering and One-day Homestay Program  
ラボパーティ 西武地区  
この度は、ラボ泊ホームステイ交流会にご参加下さいましてありがとうございます。今後のよりよい交流のために、以下のアンケートにご協力をお願いします。Thank you very much for your participation in our Youth Gathering/ One-day Homestay Program. Please fill out a questionnaire below for our next opportunity of this program.

1. 交流会は、いかがでしたか? What do you think about the gathering you attended this time?

初めて交流をしましたから、すごく楽しかったです。いろいろなことをしたり、違う国の人たちが来て一緒にいるゲームをしたり、話したり、たくさんの思い出ができました。

2. 一泊ホームステイは、いかがでしたか? Have you enjoyed your one-day homestay?  
Please tell us what you felt during the homestay experience.

一泊ホームステイはすごく楽しみです。たくさん話したり、知らないことを教えたり、知らない言葉を教えたり、日本の文化とがいろいろ経験ができました。ホストファミリーでは父と母と子供は二人います、いっぱい話しました。日本とブラジルのちがうところです。一緒にブラジル料理を作りました。あとはたこ焼きもしました。子供たちと一緒にあそびました。ホームステイのことをずっと大切にしたいと思います。



# りっこう幼稚園だより



\*\*\*\*\*

## 親子遠足

すみれ組 江田莉久海

\*\*\*\*\*

夏の日差しのような天気の中5月18日川口グリーンセンターへ遠足へ行きました。前日から「明日はグリーンセンターへ行くんでしょ?」「これからお菓子買いに行くんだよ。」と、とても楽しみにしている子どもたちの姿があり、当日もリュックサックを背負った子どもたちの表情はとてもワクワク、キラキラしていました。大型バスに乗り出発。バスの中では、「おやつはゼリーを持ってきたよ。」「SLに乗れるんでしょ。」という会話がはずんでいました。グリーンセンターに到着し、全員でパードセンターへ行くと子どもたちを待っていたかのようにクジャクが羽を広げました。初めて見る様子に歓声をあげ見していました。広場に到着すると早く遊びに行きたい気持ちが高まっている子どもたち。大きなすべり台にのぼると手を振ったり、はずんだ

表情をしていました。ローラーのすべり台をすべっていた子は「楽しいけどお尻がかゆいよー。」と友達と笑いあっていたり、展望すべり台へ行くと「宇宙みたいで綺麗だったとお家の人と話す姿もみられました。そして、SLに友達に乗っていると何度も追いかけて手を振り、自分がSLに乗ると「早く

て楽しいね!! あそこに〇〇くんがいるよ!! おーい!!」とたくさんの発見を楽しみながら遊んでいました。

帰りのバスの中、子どもたちに何が楽しかったかを聞いてみると、すべり台やSLに乗ったことという声が多く聞かれました。普段の外遊びとは違う大きな遊具などで遊ぶことができ、のびのびと心と体を広げ楽しめたのではないかと思います。また、園生活でものびのびと子どもたちが遊んでいけるよう、一人ひとりの輝きを大切にしていきたいと思います。



\*\*\*\*\*

## 花の日

すみれ組 内田麻衣

\*\*\*\*\*

5月末から6月の初めにかけて、花の日の活動を行いました。お花を見るとどの様な気持ちになるかみんなで考えると、「嬉しい・ニコニコになる・優しい気持ちになる!」と心温まる言葉で溢れていた子どもたち。みんながお花のように周りの人に温かい気持ちになってもらえるように…と、活動へ向けて準備を進めていきました。ももぐみでは、幼稚園に検診に来て下さる内科と歯科の先生へお花を渡しました。すみれぐみは、練馬消防署、練馬病院、小竹向原駅、小竹交番・図書館へ、ゆりぐみは老

人ホームへ、各クラスお花を届けに行きました。当日お花を持ち登園す

る子どもたちは、「キレイ? 私が選んだんだよ!」と笑顔いっぱい期待もいっぱい! お仕事をしている方へ質問をしたり、お仕事の様子を見せてもらったりと交流をしてから、各クラスで考えた“ありがとう”の言葉を共にお花を渡しました。「ありがと



う！」と笑顔で受け取って下さる姿に、少し照れながらも誇らし気な子どもたち。園に戻ると、「ありがとうって言ってくれた!」「喜んでくれて嬉しかった!」と自分がしたことで相手に喜んでもらえる充実感や嬉しさを味わうことができたようです。これからも、お花のように人の心を和ませられるような温かい心をもって、すごしていきたいです。



\*\*\*\*\*

## 親子体操

すみれ組 馬上朝子

\*\*\*\*\*

6月16日(土)親子体操を行いました。当日は、雨が心配されましたが、雨は降らず、広い園庭で行うことができました。

おうちの方と一緒に園庭を走ったり、肩ぐるまをしてもらったり、おうちの方がブランコやエレベーターに変身してくれて、体操をしました。様々なスキンシップを楽しみ、園庭は笑顔で溢れていました。おうちの方も、ずっしりとした子どもたちの重さに成長を感じられたのではないのでしょうか。

お部屋では、体操で頑張って下さったお礼にマッサージをしてあげました。そして、秘密で準備をしたおうちの方の似顔絵と、「すてきなパパ」の歌のプレゼントを贈りました。似顔絵を受け取ると「おー!!」と歓声が

起こり、「上手だね!」「描いてくれたの?」等、声をかけてもらえ、照れ臭そうな表情も見られました。歌が終わ



ると大きな拍手が起こり、お部屋の中は、おうちの方の愛情であたたかい空気で包まれたようでした。日頃の感謝の気持ちを込めたプレゼントを喜んでもらえ、満足そうな子どもたちでした。

これからも、おうちの方からの愛をたくさん感じて、感謝の気持ちを持って過ごしていけるよう願っています。

\*\*\*\*\*

## 流しそうめん

もも組 牛田千遙

\*\*\*\*\*

7月2日、夏らしい気候のなか園庭で流しそうめんを行いました。そうめんを幼稚園に持ってくる準備の時から「持ってきたよ」「食べるんだよね」と楽しみにしていた子どもたち。流しそうめん当日には園庭に用意された流しそうめんのレーンに、登園直後から興

味津々な姿の子どもたち。クラスでも「今日流しそうめんだよね!」と期待をしている姿がたくさんありました。

クラスごとに1レーンに1列に並び、コップにめんつゆを入れてもらおうと目が輝いていました。そして流しそうめんが始まるとレーンに集中し、流れて

くるそうめんを待ち構えていました。

ももぐみは初めての流しそうめん。割り箸やフォークで頑張っそうめんを取り、すみれぐみは苦戦しながらも割り箸で嬉しそうにそうめんを取り、ゆりぐみは上手に割り箸を使いそうめんを取っていました。お腹いっぱいになりお部屋へ戻ると、「楽しかったね」や「おいしかった」「また流しそうめんやろうね」といった声が聞こえてきました。そうめんを取れた時の嬉しさ、友だちや先生と一緒にものを味わう喜

び、夏という季節ならではのことをするワクワクやドキドキした気持ちを、子どもたちは感じていたようです。

なかなか体験することが出来ない、夏ならではの行事を味わえました。これからも神様からの恵みに感謝し、食べるこ

との喜びを友だちと分かち合い、たくさんを経験して心も身体も大きく成長できるように見守っていきたいです。



\*\*\*\*\*

# 納涼会

もも組 鈴木優菜

\*\*\*\*\*

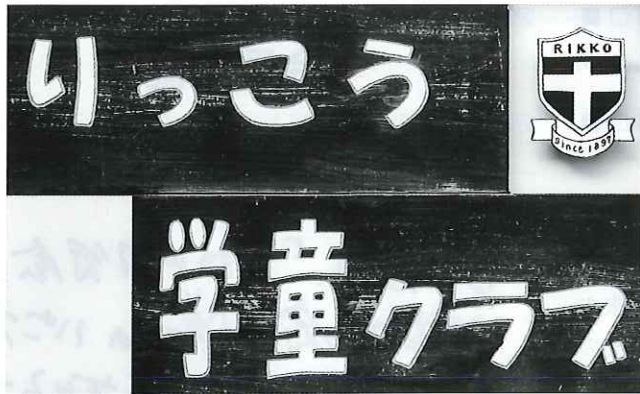
7月13日幼稚園では納涼会を行いました。子どもたちは、「またあとで会おうね」と友達同士で挨拶を交わしとても楽しみにする様子がありました。夕方になると、ちょうちんややぐら、たいこなどが設置されいつもとちよっぴり違う園庭になり、納涼会が始まりました。すると、浴衣や甚平を着て目をキラキラさせて登園する子どもたち。降園時にクラスの先生からもらったおみやげ券を持ち、自分の先生がいるお店屋さんまで行きおもちゃを交換すると、いっぱい笑顔で「ありがとう」と受け取る姿がありました。少し暗くなり、お店さんの時間が終わると、盆踊りの時間です。日々お部屋で練習してきた盆踊り。曲が流れると自然と体が動きだしたいこのリズムに合わせながら踊ります。先生や友達と踊る楽しさを味わい、アンコールはおうちの方も一緒に踊りとても温かいひとときとなりました。

最後は、待ちに待った花

火。打ち上げ花火が上がると「すごいわね」「きれいだね」と見惚れてしまう







### 留学生による読み聞かせ

日本力行会の留学生との交流の一環として、学童クラブでは留学生による英語での紙芝居の読み聞かせを行っています。学童の指導員と留学生で同じ話を日本語と英語で交互に読み、2つの言語を聞き比べるという形式で行っています。その中で「日本語のこの言葉は、英語でこうやって言うんだね。」「その英語聞いたことある！」など子どもたちにとっては様々な新しい発見があるみたいです。

読み聞かせの後は、留学生との交流会です。「私はこの国から来ました。」などと世界地図を見せながら留学生が

自己紹介をすると、「テレビで見たことある!」「その国行ったことある!」など子どもたちは興味津々でした。他にも、「私の国ではこんな有名なものがあります。」などその国の特徴を教えてくださいました。英語や世界の文化に



接することは、子どもたちにとって、良い経験になると思います。これからも留学生にご協力を頂き、子どもたちの記憶に残るような数多くの体験ができればと考えています。



### 体験学習

7月2日に池袋にある池袋防災館に出掛けました。学童では初めて電車を使っての行事でしたので、事前に子どもたちには電車の中でのマナーを説明しました。防災館では、消火器の使い方の説明や、煙の中を歩く体験、地震時の揺れを体感するなど、防災に関する様々なことを学びました。

消火器は普段身近に目にしますが、どのようなものが入っているか知らないという子どもが多く、実際に使っているところを見たことがない子どももいたので新しい知識として身につけてくれたと思います。

煙の中を歩く体験は、ハンカチで口を覆いながら姿勢を低くして出口を探していくというものでした。煙は速い速度で上の方を進んでいくので、姿勢を低くし

て歩くことを教えて頂き、子どもたちはしっかりと実践していました。

子どもたちが一番興味を持ったのは、地震体験でした。強い地震が起きることが想定され、どれほど怖いものなのか身をもって体験しました。緊急地震速報が流されると子どもたちは不安そうな顔をしていましたが、すぐに机の下に隠れ、机の脚を持ち、揺れに備えます。実際に揺れだすと子どもたちは必死に机の脚にしがみついていた。揺れが止まると、「あー怖かつ



消火器を使った訓練

た。」という言葉も聞こえ、子どもたちの真剣さが伝わってきました。

防災館で学習したことは、いざという時にパニックにならず素早く行動できるように、そして自分の身を守るために必要な知識でした。池袋防災館での体験学習は、年1回の恒例行事として取り組みたいと考えています。



揺れが始まる前の緊急地震速報を聞いているところ

## ブラジル研修生紹介コーナー

### はじめまして

皆さん、始めまして。中石ペドロと申します。23歳です。日本力行会には5月16日に着きました。ブラジルから来ました。子供のころから先生になりたいと思っています。そのためにブラジルではUNESP（サンパウロ州立パウリスタ）大学で勉強しました。日本語と日本文学の先生になるためです。いま一番したいことは、日本語と日本の文学と文化を興味がある人に教えたいと思っています。力行会はその目的を手伝ってくれています。日本に着いたときから今まで、困ったことがあったらいつでも手伝ってくれています。

力行会のために全力でお手伝いしたい、何がなんでも力行会にお役に立ちたいと思っています。力行会の皆さんはいつもほかの人をサポートしてくれています。私はその様子を見ると同じようにしたいと思っています。

事務所の人と研修生たちもサポートしてくれました。そのためには必ずその感謝の気持ちを他の人と分かち合い、教えたいと思っています。力行会研修生として日本に来て、色んないい人に会いました。ブラジル帰るときにも力行会の優しさと友好の心をブラジル人に教えたいと思っています。今まで色々なことを力行会で学びましたが、これからも引き続き多くを学びたく思います。本当に有り難うございます。

平成30年ブラジル日本語研修生  
中石ペドロ

## 会員お便り

この度は、「ブラジル力行会」  
100周年記念式典のパンフレット  
とお送りいただき、有難うござい  
ます。小生の住む近くに梨井聖国  
があり、創業者、島倉矢木先生  
の著地もあり、毎日毎日手紙を  
てお送り、皆様の益へのご配慮、  
ご厚意にお礼申し上げます。御礼です。  
2018.06.11.

株式会社アルファインテック  
代表取締役 佐藤 貞茂

練馬区立石神井公園 ふるさと文化館 企画展

# 「むかしのがっこう」

—当会所蔵資料も多数展示され、多くの来場者が興味深く拝観—

練馬区立石神井公園内にある「ふるさと文化館」では、毎年多数の企画展が開催され、多くの区民より関心を得られているが、去る4月21日～6月10日の期間中、企画展「むかしのがっこう」と評して、江戸時代後期から現代までの練馬区内にあった特徴ある学校の紹介と関係資料の展示展が開催され、今回、当会の戦前に存在した「日本力行海外学校」「力行商業学校」に

ついでに関連資料も展示され、期間中多くの来場者の方々よりご好評を得た。

今回の企画展示に当たり、準備段階より文化館学芸員担当者が度々当会を訪れ、展示主旨を説明、当会としても趣旨に賛同し、多くの関連資料や書籍の展示貸し出しに協力を行い、特に学校の概要や教科書、立地図や集合写真や校舎の写真など、当会では当たり前

に目に触れる資料ながら、戦前や戦中資料がほとんど無傷に保存展示されていることに多くの方々が関心を持たれ、企画展示会終了後も区の内外問わず関係者が閲覧や見学に訪れるきっかけとなったといえよう。

今後も、ふるさと文化館の企画展示の開催に協力すると共に、区民や区政の発展にお役に立てれば光栄です。

東京

# 「いま、ブラジル日系社会が危ない」

## 日伯議連で日下野理事長講演

ブラジル日本語センター

日伯国会議員連盟（麻生太郎会長）が5月16日、衆院第二議員会館で、ブラジル日本語センター理事長の日下野良武氏を講師に招き、特別講演会を開いた。日下野氏はブラジルの日系社会における日本語教育について「停滞から衰退の道をたどり始めている」と強い危機感を示し、日本政府に支援を訴えた。

日下野氏はブラジル在住36年、邦字紙のサンパウロ新聞の専務を務めるなどジャーナリストとしても活躍。同時に日系社会の日本語教育の振興に努力してきた。講演のテーマを「いま、ブラジル日系社会が危ない」としたのは、日系社会の文化の根幹である日本語教育が揺らいでいるからだ。

日下野氏は講演でまず「ブラジルの日本移民が協力して最初に作ったのが日本語学校だ」と指摘。当初はボランティア活動で、様々な苦勞を重ねながらブラジル全土で350校もの日本語学校ができ、日本語教師1200人、学習者は2万3000人にまでなったという。その結果、日系社会の歴史や文化がいまに受け継がれ、政治、法曹、医学など各界で日系人が活躍する源泉になっている、と語った。日下野氏は「まさに日系社会の文化の根幹は日本語だ」と強調した。

ところが、「最近韓国、中国の進出が顕著で日系社会の存在感が薄れている」と憂慮の念を隠さない。韓国社会は韓国語学校をつくり、中国は孔子学院を有力大学の中に創設、中国語や中国文化の普及に力を入れている。韓国、中国は言語政策を国家戦略として力を入れているのに、日本は日本語教育の十分な法的整備すらないのが実情だ。

日系社会では、日本語教師が三世、四世の時代になり、日本文化に触れずに育った日本語教師が大半だという。このため「日本語による日本語教育」

では十分な教育が出来なくなっており、「外国語による日本語教育」、つまりポルトガル語による教育に切り替える必要がある、と日下野氏は提案する。

日本からは、JICAや国際交流基金などの支援があるとはいえ、十分でないのは明らかだ。日本語教育、日本語教師の育成などに取り組むブラジル日本語センターの運営も資金繰りに追われる日々が続く。日下野氏は「手遅れにならないうちに日本国政府の多大なご理解、ご支援を切望するところです」と訴えた。

質疑では議員側から「日本語学校を日本文化の発信拠点に」「ブラジル人の日本語教師の養成を」など日下野氏の要望に対して理解を示し、後押しする意見が相次いだ。また、「どの程度の支援が必要なのか」と問われた日下野氏は、サンパウロに日本政府が35億円を投じて建設した「ジャパンハウス」の例を挙げながら、「日本語教育を恒久的に続けていくには10億円程

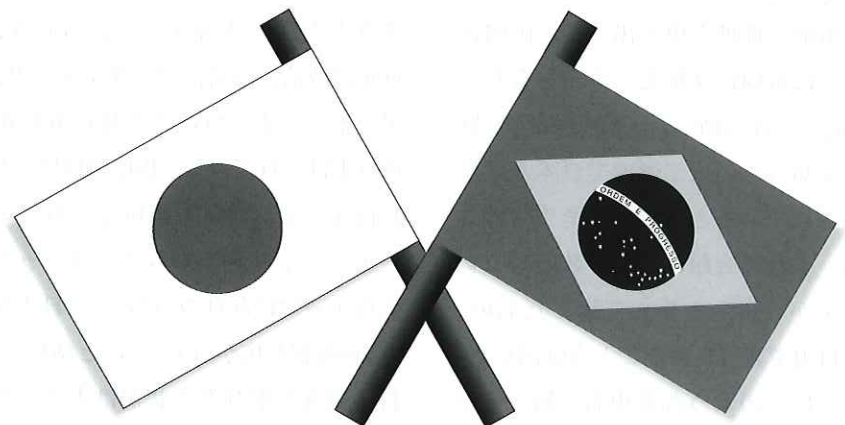
度が必要だ」と述べた。

ブラジルは金利が6%程度あり、10億円の基金があれば利息の運用により、日本語教育の振興策が可能だとの考えを示したわけだ。

この日の講演会は自民党文部科学部会、同党海外子女教育推進議員連盟が協賛。また、超党派の日本語教育推進議員連盟にも参加を呼び掛けた。日本語教育推進議員連盟は日本語教育推進基本法の制定を目指している。

同議連の河村建夫会長は、今回の講演会を主催した日伯国会議員連盟の幹事長だ。河村氏は講演会の冒頭のあいさつで「日系人社会は四世、五世の時代となり、だんだん日本との関係が薄れていく。それを取り戻すのは日本語だ。そこをしっかりとやらなければならない」と述べた。（「にほんごぷらっと」サイト <http://www.nihongoplatform.org> より許可を得て転載）

（ニッケイ新聞 2018年6月2日）

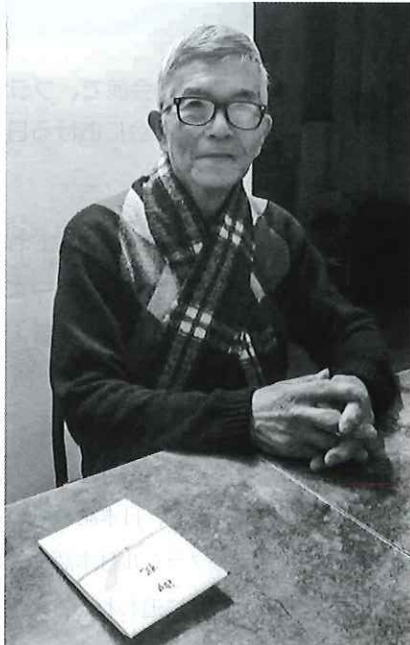


## 平成30年春の叙勲 当会の山口アルゼンチン支部長が受賞される

平成30年春の叙勲において、当会アルゼンチン支部長を務める、山口義男氏が「旭日単光章」を受賞された。

山口氏は、1956年ブラジル軍艦にてブラジルへ移住後、後に力行会員数名と共に1958年からアルゼンチンへ転住し、以来、クリーニング店に就労後、現在まで製麺業を営んでいる。特に今回の受勲に至る功績として、在亜新潟県人会の会長や日垂ペヘレイ協会会長、在亜日本語教育連合会会計などの数々の在亜日系社会の要職を務められた。

今回の山口アルゼンチン支部長の叙勲を、当会からも心よりお祝い申し上げます。



(ニッケイ新聞 2018年5月26日)

◎

日本文化研究所の会館がサンパウロ大学構内に建設されたのは1976年。それまで市街地の借家や構内の施設を転々としていた。建設時、大学がドイツとイタリアの両国に研究所建設用地の提供を申し出たが、両国はすでに市内に文化センターを有していたことから断った。松原教授は「歴史を知らない人が学内で日本だけ優遇されていると言うが、そうではない。それに会館は、日本政府やコロンビアから資金を集めて建てたもの」と自力で建設されたことを強調した。今ではそのような歴史も「知る人ぞ知る」の状態だ。

日本語科開設当初、専攻するのは日系二世の女子学生が中心だったが、現在は非日系人が8割で男子が半数。かつて日本語、日本文学、歴史人類学などが主な研究テーマだったが、近年は政治、経済、マーケティング、アート、スポーツなど多様な分野が取り上げられている。松原教授は「少し前まで新しい研究領域とされていたアニメや漫画ですらオーソドックスなテーマになりつつある。『日本文化』の解釈が広がっている」と話した。日本研究を取り巻く状況は大きく変わりつつある。

## 日本力行会機関紙「力行世界」 定期購読会員ご加入のお願い

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より多大なご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当会はお陰様で創立121年を迎えました。「日本民族の霊肉救済」を旗印に、苦学生及び渡米希望者に支援や便宜を与え、さらに青年の移住斡旋や現地教育にも傾注し、北米、中南米、東南アジア、旧満州へ約3万人の移住者を送り出し今日に至っております。

創立80周年には、記念事業として創立理念をさらに発展させ、“世界と日本の架け橋となる人材育成”“海外同胞との連携強化”などの実現を目標に、留学生宿舎・「国際交流会館」を新設し、各国からの留学生を迎え、日常生活を通して日本文化を習得しながら修学や研究に励めるような環境づくりと支援活動を続けて参りました。

ご賢察の通り、この約40年間に円価格の激変などの日本経済及び世界的位置づけの変容により来日に感謝すべき時代を迎えた今、留学生の来日数や留学目的も変わり、公益の法人といたしまして資力不足ながらも、関係先との諸問題の解決や支援活動の強化や充実にも拘らず、在日留学生の生活環境はまだ十分と申し上げる状況ではございません。

つきましては、より積極的な国際交流の継続をご理解頂き、当会活動理解の為、『日本力行会機関紙「力行世界」定期購読会員』のご加入を頂きたいお願い申し上げます。また、ご友人や国際交流にご関心を抱かれている方々へのご紹介も合わせてお願いいたします。

末筆に成りましたが各位の益々のご健勝と弥栄を祈念いたしております。敬具

平成30年8月15日発行  
年4回発行(1・4・7・10月号)  
発行  
**(学法)日本力行会**

〒176-0004

東京都練馬区小竹町2-43-12

電話 03-3972-1151(代)

FAX. 03-3972-1264

E-MAIL: rikko@rikkokai.or.jp

ホームページ

<http://www.rikkokai.or.jp>